



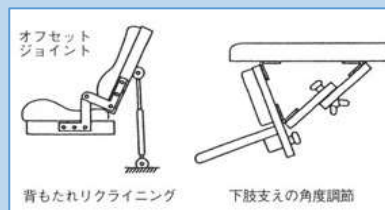
中津支援学校に通う児童生徒が使用している
主な身体器具の基礎知識について紹介します。

座位保持装置

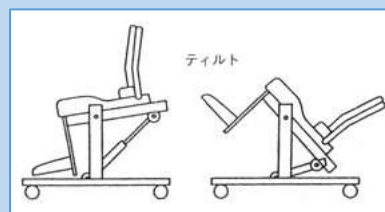
使用目的

○食事や学習、移動などの目的に応じた姿勢保持を行う事で身体機能（上肢の操作性）の向上や日常生活動作、認知の向上が期待できる。

ティルトとリクライニングの違い



リクライニングは背もたれ部分の角度を調整する。



ティルトは座面と背もたれを固定したまま角度を調整する。



～つける順番～

- ③胸ベルト
- ②骨盤ベルト
- ①股ベルト
- ④足ベルト



ティルト機能付き



固定されておりティルト等の機能は×
成長によって背もたれの高さを調整する。

○座位保持椅子は校内では主に上記の二つを使用している。

○ベルトの数や位置も児童生徒に合わせたものとなっている。



本校のブレーキは主にこのタイプ

注意点

- ① ベルトのつけ忘れがないか確認する。（つける順番にも注意する）
- ② 児童生徒から離れる際や乗り降りする際には、必ずブレーキをする。
- ③ 骨盤の位置に注意する。
- ④ 長時間、同じ姿勢は避ける。（ティルト機能の使用や椅子から降りることで姿勢転換する）
- ⑤ テーブルに膝が当たっていないか（角度）の確認をする。

適切な位置を
把握しておく。